



認知症総合支援事業の 取組状況について



本物力こそ桑名力

認知症総合支援事業の取組状況について

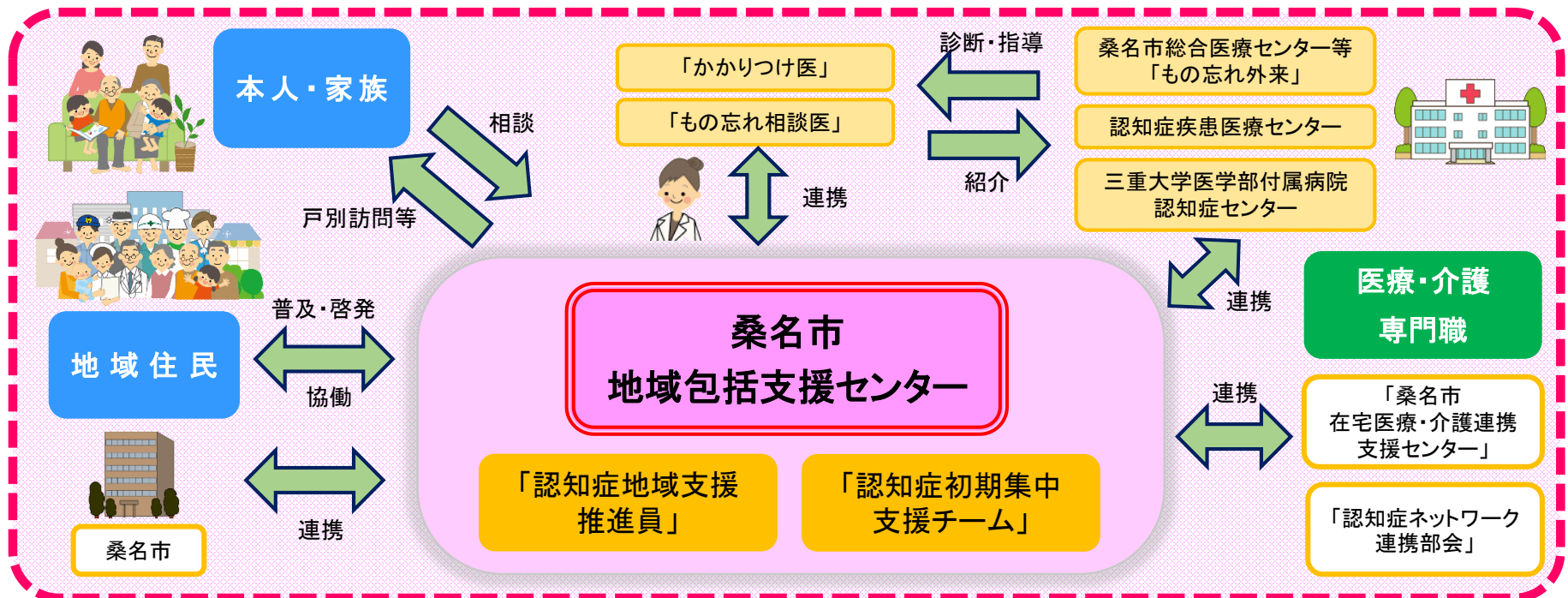
認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

- 「オレンジカフェ」(認知症カフェ)の開催
- 「認知症市民公開講座」の開催
- 「認知症サポーター養成講座」の開催
- 「徘徊SOS緊急ネットワーク事業」の実施
- 「認知症みんなが安心声かけ訓練(徘徊模擬訓練)」の実施

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

- 初期集中支援の実施
- 「くわな認知症安心ナビ(認知症ケアパス)」の作成・更新
- 「認知症ケア多職種協働研修会」の開催

認知症の人やその家族の視点の重視



認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり①

取組状況・方向性

○ 認知症サポーター養成講座とは

認知症を正しく理解し、認知症の方への接し方を学び、
認知症の人を温かく見守るサポーターを養成します。

○ 平成30年度 2,316名受講

小学校 20校 中学校 1校 高校 2校

企業・職域 12か所企業（鉄道会社、薬局、医療機関、日本郵政）

オレンジリングが
認知症サポーターの証



小学校



企業



認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり②

取組状況・方向性

○認知症みんなが安心声かけ訓練とは
地域住民が徘徊する高齢者への声かけを体験。
徘徊により行方不明になった人が発生したことを想定し、搜索・声か等の訓練を行います。

通報訓練

平成30年度 7地区で実施

(益世、深谷、希望ヶ丘

新西方、長島、寺町商店街、多度)



中学校



認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり③

取組状況・方向性

○ オレンジカフェ

平成27年度より開催。認知症の方や家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集う場となっています。

地域包括支援センターや地域密着事業所、医療機関等が開催。



喫茶店



お寺



介護事業所

認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり④

RUN伴



啓発イベント



図書館での啓発



市民公開講座



認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供①

取組状況・方向性

- 「くわな認知症安心ナビ（認知症ケアパス）」の作成・更新

認知症の状態に応じてどのようなサービスを利用することが可能である

かについて、地域資源の「見える化」を図るため、平成27年3月に作成しました。



- 「認知症ケア多職種協働研修会」の開催

保健・医療・福祉・介護専門職等の参加を得て「認知症ケア多職種協働研修会」を開催しました。

参加者：127名（H30年度：88名）

（医師：8名、歯科医師：11名、薬剤師：2名

ケアマネジャー：42名 介護事業所：19名 他）



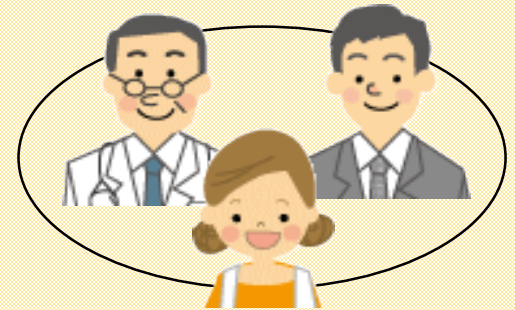
認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供②

取組状況・方向性

○ 初期集中支援チーム

認知症かも？と思われる方や認知症の症状でお困りの方のご自宅へ訪問し、ご相談に応じたり、医療、介護サービスの説明などを行います。

- ・合同ケアマネジャー交流会で周知
- ・5チーム合同勉強会、ネットワーク連携部会の開催



桑名市認知症初期集中 支援チームの取組について

桑名市
イメージキャラクター
「ゆめはまちゃん」



桑名市役所 介護予防支援室

ケアマネジャーのみなさんへ

認知症の方への対応や支援方針で迷うときは
認知症初期集中支援チームにご相談ください！

みなさんと一緒に対応や
支援方針について考えます

医療・介護サービスに
繋がっている方も
支援の対象です

利用者さんの家族の方でも
おやっと思う方はいませんが

まずは一度
ご相談ください！



認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに
今後も取り組んでいきます！

認知症
ともに暮らせる
まちづくり



桑名市



桑名市
イメージキャラクター
「ゆめはまちゃん」

